

## 教育委員会協議会議題

平成20年2月20日

### 1 報告事項

(1) 平成20年度学校教育のねらいと基本方針について（資料1 学校教育課）

# 1 学校教育のねらいと基本方針について

## 教育の行き届いたまち おたわら

### 平成20年度 学校教育のねらいと基本方針

小田原市教育委員会は、「小田原市教育都市宣言」の趣旨を踏まえ、21世紀を担う子ども達の「生きる力」を育み、地域性を生かした学校教育の創出に向けて策定した「小田原市学校教育推進計画」に基づき、小田原の資産や資源を生かして、地域とともに歩む学校づくりを進めるために、学校教育の方向を次のように決めました。

#### 学校教育のねらい

- 1 創造性や論理的に考える力を持った子どもを育てる。
- 2 コミュニケーション能力を身に付けた子どもを育てる。
- 3 健康な心と身体を持った子どもを育てる。

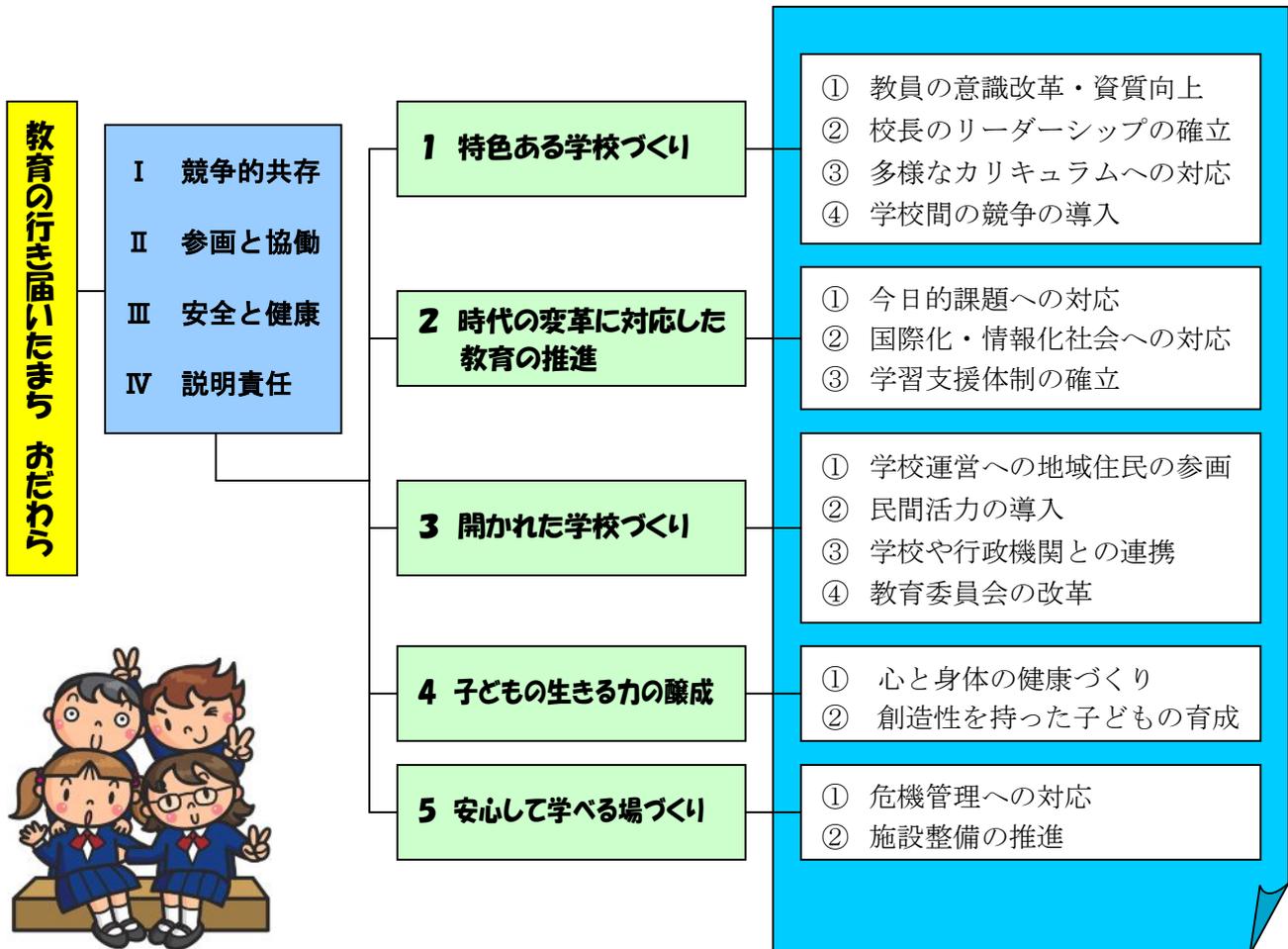


#### 基本方針

学校教育のねらいを達成するために、

「競争的共存」「参画と協働」「安全と健康」「説明責任」を4つの視点として、

目標と施策の方向を次のように定め、基本方針としました。



## 平成20年度の重点

「子どもが幸せを感じられる魅力ある学校」  
「保護者・地域の方々・教職員の三者が、学び合える学校」  
をめざします。

子どもたちに豊かな心・確かな学力などの「生きる力」を育むことが、子どもの幸せにつながると考えます。そのためには、教職員の資質・指導力の向上はもちろん、学校・家庭・地域が一体となって、さらに、幼稚園・小学校・中学校が一体となって、教育の見直しと充実に向けた取り組みを進めていきます。

### 豊かな心を育む教育の充実

教育活動全体を通じて、自らを律しつつ、他者と共に協調し、他者を思いやる心、生命や人権を尊重する心、感動する心など豊かな人間性を育む教育をめざします。

- ☆ 子どもたちの心の安定と規範意識の向上を図るために、保護者や地域の方とともに、「おだわらっ子の約束」を実行していきます。

### 確かな学力の向上

指導方法の工夫・改善や教材研究などに取り組み、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力、学習意欲などを含む「確かな学力」の向上をめざします。

- ☆ 「わかる授業」を実現するために、積極的な授業公開・研究や、多面的な授業評価等を行って、授業の工夫・改善に努めていきます。

### 地域一体教育、幼・小・中一体教育の推進

学校・家庭・地域が一体となって魅力ある学校づくりを進め、豊かな心と確かな学力を持った子どもたちを育てる教育をめざします。さらに、幼・小・中一体となった教育を展開し、幼稚園入園から中学校卒業までを見通した子ども一人ひとりを大切にする教育を推進していきます。

- ☆ 学校と保護者や地域の方を結ぶコーディネーターが各校に配置されたことにより、教育活動全般にわたって、さらなるスクールボランティアの推進を図っていきます。

### 不登校への取り組み

- ☆ 家庭・地域や幼稚園・小学校・中学校の教職員が一体となって、魅力ある学校づくりを推進することにより、不登校の解消をめざした取り組みをより一層強化します。

※ 各学校は、上記の重点のうち、☆の取組み（特にゴシック文字で示すもの）を、学校評価の共通評価項目として設定します。

### 支援教育の充実

自らの力で解決することが困難な課題（教育的ニーズ）を抱え、周囲からの支援が必要な子ども一人ひとりへの適切かつきめ細かな指導の充実をめざします。

### 身体・健康づくりの推進

生涯にわたり、主体的に運動に取り組み、体力の向上を図るとともに、生活リズムを整え、自らの健康を適切に管理・改善できる子どもの育成をめざします。

### コミュニケーション能力の向上

相手の考えや思いを受けとめ、自分の考えや思いを的確に表現できる子どもの育成をめざします。

### 郷土を愛し大切にする学習の充実

郷土の自然や歴史・文化を学び、郷土を愛し大切にするとともに、小田原に誇りを持つ人間の育成をめざします。

### 子どもの安全・安心の確保

学校における安全指導・安全管理の徹底を図るとともに、家庭・地域との密接な連携のもとに、子どもの安全・安心の確保の一層の推進を図ります。

教育長の方針  
子どもの幸せ

学校教育のねらい

創造性や論理的に考える力  
コミュニケーション能力  
健康な心と身体

おだわらっ子検定 <学力>

\* 検定を受検することによって、進級を励みにしながら、基礎学力の向上を図っていく。  
△受検者総数…60%

わかる授業を実現し、確かな学力の向上に努める <学力・資質・指導力>

\* 全国学力・学習状況調査の結果などから、子どもの実態を分析し、授業改善に努める。  
△市内全校が、県平均を上回る。  
\* 多面的な授業評価(含：児童・生徒による授業評価)を実施し、授業改善に努める。  
△児童・生徒による授業評価で、「良い」「概ね良い」といったプラスの評価を90%以上にする。  
\* 各種研修会・学校訪問の充実を図り、教職員個々の資質向上に努める。

<教職員の資質・指導力の向上>

教職員アカデミー

教育長の方針  
良い先生

教育長の方針  
現場第一主義

<魅力ある学校づくり>

\* 子どもが幸せを感じられる魅力ある学校  
\* 保護者・地域の方々・教職員の三者が学び合える学校

<学力向上>

<心の育ち>

不登校への取組み <魅力・心>

\* 中学校の不登校生徒の出現率が、全国平均(2.86%…H18)を下回る。  
△H20…3.86% H21…3.36% H22…2.86%  
\* 小学校の不登校児童の出現率が、全国平均(0.33%…18年度)を下回る。  
△H20…0.39% H21…0.36% H22…0.33%

幼・小・中一体教育

幼・小・中一体教育の推進

<学力・心・魅力>

\* 幼・小・中学校が一体となって、幼稚園入園から中学校卒業までを見通した子ども一人ひとりを大切に教育を推進していく。  
△全12中学校区ごとに、幼・小・中一体教育研究会を組織し、全教職員が参加する研究会を実施する。

幼・小・中一体教育と地域一体教育の融合

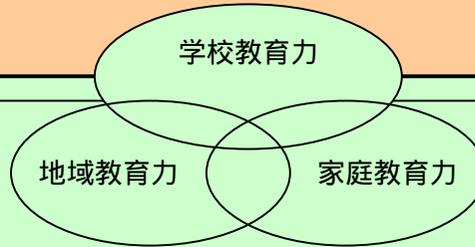
おだわらっ子の約束 <心>

\* 幼・小・中学校が一体となって、「おだわらっ子の約束」の実践化に取り組む。  
\* 学校・家庭・地域が一体となって、教育の行き届いたまち「小田原」をめざす。  
△朝食の摂取率において、市内全校が全国平均を上回る。  
・全国平均  
小学6年生…86.3%  
中学3年生…80.5%

地域一体・まちぐるみの教育

スクールボランティアの充実 <魅力>

\* 全校でスクールボランティアの実践の充実に努める。  
△登録者数 H20…0.4人 H21…0.45人 H22…0.5人  
・児童生徒一人あたりの登録者数  
・H19の実績は0.34人



<教育が行き届いたまち おだわら>